



発行 小野友五郎を伝えてゆく会
 事務局 〒309-1626
 茨城県笠間市下市毛222の5
 TEL 0296-72-5104 FAX0296-72-5115
 H P https://tomogorou.com
 Eメール tomo56@eco.ocn.ne.jp

笠間の友五郎から
日本の友五郎へ

- ◆ 吉岡良太夫と矢祭町
- ◆ 行方大場家歴史資料館が完成 ◆ 小野友五郎伝
- ◆ 友五郎の足跡を訪ねて 国防の地
- ◆ トピックス ◆ 編集後記

横浜 → 横須賀 😊
 楽しく学んだ！開港資料館や軍港クルーズ

幕末の開港時からあったとされる「たまぐすの木」の前で「横浜開港資料館」



友五郎ゆかりの地を訪ねるバスツアー 4月15日

会員ら25人が参加

小野友五郎ゆかりの地を訪ねながら親睦を深めようと企画された伝えてゆく会(杉田捷機会長)のバスツアーが4月15日に行われ、会員をはじめ25人が参加し、横浜、横須賀を訪ねました。

笠間を午前7時に出発、歴史に詳しい南秀利さんや杉田会長の話を聞きながら、まずは横浜開港資料館へ。幕末の開港以降、多くの外国人が居住し、貿易都市として発展を遂げた横浜の歩みを記す展示に見入りながら、近代日本の夜明けを肌で感じてきました。

横浜中華街で腹ごしらえをした後は横須賀でさらに見聞を深めました。幕末から日本海軍の軍港として発展してきた横須賀。参加者はクルーズ船に乗り込んで港を巡り、停泊する米原子力空母ジョージ・ワシントンをはじめ米海軍や海上自衛隊の多くの艦船に目を奪われました。また日露戦争で活躍した戦艦三笠にも足を運び、往時に思いを馳せました。

横浜は咸臨丸の渡米にも関わる日米修好通商条約の締結により開港。国防の強化を迫られた幕府は、小栗上野介や小野友五郎らの進言により横須賀に製鉄所の建設を進め、明治には製鉄所を経て造船所、海軍工廠(こうしよ)として名を変えながら、現在も軍港としての重要な役割を担っています。

(3面に特集)

吉岡良太夫と矢祭町

矢祭町長 佐川 正一郎

「矢祭町の春告げ桜」と昔から呼ばれている樹齢600年の江戸彼岸桜「戸津辺桜」は、今年は3月26日に開花宣言をいたしました



吉岡良太夫氏

た。東北地方で一番早く咲く桜として有名です。開花とともに近隣各地から大勢の方が訪れ花を楽しんでいました。室町時代からの桜ですから歴史を感じさせられます。

私のルーツは、北条時宗の子、泰時が延元の乱で足利尊氏に敗れ、高野郷（矢祭町）に移り、久慈郡豪士佐竹秀義の家来となり、北条から佐川を名乗るのがルーツです。約700年前のことです。

吉岡良太夫（勇平）氏もこの戸

津辺の桜の近くに生家があります。勇平氏は1847年、この桜を後に17歳で矢祭町を離れ、会津から江戸へ遊学します。彼の持ち前の勤勉さと行動力、思考力で、この多くの激動の時代に諸学者や武人達と出会いました。その中で最初の人物は、旗本牧志摩守義制（よしのり）です。牧氏の祐筆となり、長崎奉行へ任地します。1850年、20歳の時に勇平氏はこの長崎で出島を見たり、外国人と会ったりして、カルチャーショックを受け、世界の流れを感じたと思います。

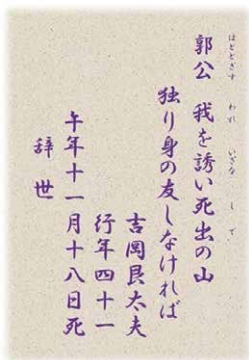
将来の日本を、どう思うか、どうすべきか、この考えが、今の私たちにも必要と、私も思います。そして、ここ長崎で重要な人物と出会います。米国から戻った漂流者ジョン万次郎氏です。万次郎氏は、ハワイから沖繩へ、そして島津斉彬氏と出会い、長崎奉行に送られます。万次郎氏は、牧志摩守の寛大な取り調べで釈放されます。万次郎氏24歳です。この取り調べで、勇平氏は調書を取って

ます。米国の様子や万次郎氏の考えを知ったと思います。1852年（嘉永5年）、勇平氏は牧志摩守と共に江戸へ戻ります。その6年後の1858年（安政5年）、勇平氏が書いた「江戸湾防備策」が葦山代官江川太郎左衛門英龍に認められ、海軍事務取調役となります。59年には、幕府が新たに創設した軍艦取調役を任命されました。ここでまた江川太郎左衛門という素晴らしい人物との出会いがありました。

長崎から戻った2年後の1854年（安政元年）、55年には、江戸から南海にかけての安政の大地震が発生しました。58年には安政の大獄が起きます。大地震と社会事情が重なり、社会不安は増し、経済は不安定になります。こうした社会情勢の中、同じ58年に開国を求める米国と幕府は日米修好通商条約を結びました。

吉岡勇平氏は2年後の1860年（安政7年）、条約の批准書を交換するための使節団が乗る米国ポーハタン号の随伴船として、米

国に向かった咸臨丸に乗船することになりました。随伴船として、オランダ建造の朝陽丸と観光丸、咸臨丸のどれが相応しいか議論があり、二転三転して咸臨丸に決定します。咸臨丸はスクリーナー艦の装備があったことから、咸臨丸でなければサンフランシスコには行けなかった、と思います。木村撰津守の素晴らしい判断、決断でした。



辞世の句

吉岡勇平氏から学ぶことは常に向学心を持ち、自分を変えながら目的指向の高いことです。結果として、人との出会いを大切にしている勇平氏の人生、人格を変えました。行動力と向学心は、自分を変えて未来を変え、そして、人生を変えます。40年の人生ではありましたが、激動の幕末を生きたのですから、感動いたします。

行方大場家歴史資料館が完成

歴代の水戸藩主が宿泊し、藩政事務所でもあった行方市玉造甲の大山守大場家郷土屋敷（県指定有形文化財）の隣接地に3月末、「行方大場家歴史資料館」が完成しました。大場家の貴重な歴史的資料を管理、公開していく施設で、4月上旬に行われた春季開館に続いて、秋にも一般公開が予定されています。

大場家には歴代藩主からの下賜品が数多くあり、徳川光圀公から拝領した茶杓、治保公の赤楽茶碗、斉昭自筆の扇面、印籠などが所蔵されているほか、3万点以上に上る古文書があります。春の一般公開ではこれらの歴史的資料が展示され、資料館では「400年の間眠っていた貴重な歴史的資料を後世まで広く伝承する場となることを願っています」と話しています。

貴重な歴史資料を展示、保管



横須賀軍港クルーズ（横須賀市）

横須賀は黒船来航以後、国防の前線基地となり、横須賀製鉄所、海軍工廠が造られ、軍港として発展を遂げた。現在は米海軍と海上自衛隊の基地があり、港にはさまざまな艦船が停泊している。「YOKOSUKA軍港めぐり」と称した45分間のクルーズが楽しめる。



横浜開港資料館（横浜市）

1854（安政元）年に日米和親条約が締結された場所に建ち、中庭にある「たまくすの木」は条約締結の時からあったと伝えられる。安政6年に開港した横浜の歴史がわかる。1981年に開館。



世界三大記念艦 三笠（横須賀市）

戦艦三笠は軍事力強化のため、1902（明治35）年にイギリスで建造された。日露戦争では東郷平八郎司令長官が乗艦する連合艦隊の旗艦として活躍。現存する世界最古の鋼鉄戦艦で、日本遺産の構成文化財に認定されている。



小野友五郎伝 5

杉田 捷機



咸臨丸の修理に37日

米国への長い航海で咸臨丸はかなりの損傷を受け、メーア島の海軍工廠(こうしょう)で修理を行うことになりました。日本人乗組員もドック内の宿舎に泊まりながら咸臨丸の修理を手伝いました。このことは後に日本の造船技術に大いに寄与したと言われています。

一方、使節団を乗せたポーハタン号も日本出港後、激しい暴風雨に見舞われ船体を損傷しました。このためハワイ島に寄港して修理を行い、咸臨丸より12日も遅れてサンフランシスコに入港しました。使節団はその後、修理中の咸臨丸の乗組員と別れを告げ、パナマ峠を経てワシントンへと向かいました。

大修理を終えた咸臨丸は1860(安政7)年5月1日、サンフランシスコに戻り、帰国の準備に取り掛かりました。米国までの航海日数は37日、修理にも37日間を要しました。

た。木村撰津守と友五郎は修理の合間に航海に必要な機材の購入を行いました。教会の日曜礼拝やダンスパーティーには目を丸くしたそうです。また中浜万次郎は通訳として大いに活躍しました。



軍艦奉行の木村撰津守喜毅

つらい出来事もありました。サンフランシスコに着いてから水夫が2人死亡しています。また帰国際に水夫8人が高熱を出して帰国ができなくなり、世話をする2人の水夫を残して3月19日サンフランシスコを出港しました。大勢の市民の見送りを受け咸臨丸は海軍の祝砲の中、帰国の途に就いたのでした。

将軍に単独謁見

1860(安政7)年4月4日、サンドイッチ

諸島(現在のハワイ諸島)のホノルルに寄港し、カメハメハ国王と謁見しました。中浜万次郎は10年ぶり2度目の訪問で、以前に世話になったデーモン牧師と再会を果たしました。万次郎のあまりの出世姿に牧師も驚いた

そうです。万次郎は、腰に差していた脇差の関の兼房を牧師に贈り、この刀は今もデーモン家に保存されています。

咸臨丸は4月7日にホノルルを出港し、5月5日浦賀に着き、翌6日横浜に無事帰港しました。帰路は日本人のみでの航海となりました。

帰国後、友五郎は再び築地海軍操練所の教授を命じられます。木村撰津守の帰朝報告で友五郎の活躍が幕府に伝わり、西の丸御座で14代将軍家茂に単独謁見する栄を受けました。謁見の知らせに驚いた笠間藩は急きよ、物頭格という上士に昇進させたほどです。

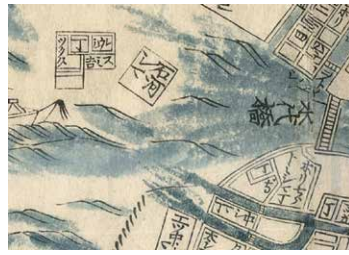
友五郎は将軍への土産として写真機と革製の財布を献上し、将軍からは時服と銀80枚を特別賞与として賜りました。艦長の勝麟太郎を差し置き、単独謁見したことは、瞬く間に江戸城中に知れ渡り、友五郎は7月に正式に幕臣に登用され、軍艦頭取となりました。

(つづく)

国防の地 石川島 佃島 越中島

井坂 幸雄

江戸時代の古地図を見ると、大川（隅田川）の河口に「石河」「ツ



江戸絵図文化7年

現在もその地名を残す石川島、佃島、越中島のことです。小野友五郎が関わる国防の地でもありました。江戸期から東京湾で進められてきた埋め立てにより、この3カ所も現在は近代的な街並み

に大きく変貌を遂げています。

1853（嘉永6）年のペリー来

航で、国

防に危機

感を強め

た幕府は

品川から

深川にか

けての海

上に11基

の台場



右側海岸の突起部分が越中島
砲台＝明治11年東京全図から

（砲台）の建設に乗り出しました。

品川台場です。うち6基が築造さ

れ、現在も遺構として残る第三台

場は都立お台場海浜公園として親

しまれています。

その後幕政を揺るがす生麦事

件などが発生。さらなる国防強化

を余儀なくされた幕府は、防備用

砲台の設置場所の選定を担ってい

た友五郎の海防案を基に、新たな

整備計画を立てました。計画11基

のうち5基が完成し、品川よりさらに内海奥部で迎え撃つ場所として佃島と越中島にも砲台が設けられました。

佃島砲台は品川台場の築造から

約10年を経た1864（元治元）年

に、越中島砲台はその翌年に完成

しました。両砲台とも遺構は残っ

ておらず、現在の中央区月島と江

東区越中島の東京海洋大学に跡地

だったことを示す掲示がありま

す。越中島砲台は大学の職員会館



越中島砲台があった
東京海洋大学の職員会館

周辺にあったと推定されており、構内には当時の構築材とみられる石垣石が多く残されています。

埋め立てにより現在は佃島と陸

続きとなっている石川島は、ペリー来航を受け、水戸藩が幕府の命を



造船所の掲示がある
石川島公園

受けて日本初の洋式造船所「石川島造船所」を創設した場所です。

墨田川沿いにある石川島公園に

「日本初の民営洋式造船所 発祥

の地」の掲示があり、「造船所は洋

式帆装艦『旭日丸』をはじめ、日

本人によって設計、建造された最

初の蒸気軍艦『千代田形』など数

多くの艦船を次々と建造、造船技

術を通じてわが国産業の近代化に

大きく貢献した」などと記され、

千代田形の写真も掲示されていま

す。

千代田形は小野友五郎らが幕府

に進言し、友五郎自ら船体を設計、

石川島の造船所で建造した軍艦で

した。石川島造船所は明治期に民

営化され、現在、その流れをくむ

のが大手企業のIHIです。

友五郎の足跡を訪ねて

咸臨丸子孫の会が総会 『30年の歩み』を発行

伝えてゆく会3人参加

昨年10月に笠間稲荷神社で開催した咸臨丸サミットで、パネリストとして登壇したメンバーらが所



属する咸臨丸子孫の会（藤本増夫会長）の総会が2月1日、東京都内で開かれました。子孫の会に入ることになった小野友五郎を伝えてゆく会では、今泉寛副会長、

石崎文夫事務局長、井坂幸雄の3人が出席し、子孫の会の皆さんと交流を深めてきました。

総会には子孫ら50人が出席し、活動報告や予算案などが承認され、会発足30周年に合わせて発刊となった記念誌の紹介がありました。新会員として伝えてゆく会の3人も紹介され、あいさつで咸臨丸サミット開催のお礼や今後の交流促進をお願いしてきました。総会に続いて開かれた懇親会では、笠間での咸臨丸サミットが話題となり、参加者からは「また開催してほしい」との声が上がっていました。

また、これに先立ち友五郎の玄孫で子孫の会と当会の会員でもある小野孝太郎さんがミニ講演を行い、友五郎の生涯や自らの生き方を語りました。
配布された記念誌『咸臨丸子孫の会 30年の歩み』は、1994年の発足から今日に至るまでの活動や会員の寄稿などで構成され、会の足跡がひと目で分かる内容となっています。



『量地図説を読む』 県内図書館に寄贈

今泉副会長

小野友五郎が執筆に関わった測量術の入門書『量地図説』を当会の今泉寛副会長が現代語訳し、昨年、発行した『量地図説を読む』が、県内の全公立図書館65館に寄贈されました。最寄りの図書館に行けば、多くの県民が同書を見ることができるようになりました。
図書の寄贈は県立図書館を通じて行われ、3月21日に今泉副会長が同図書館を訪ね、小田部修一館長に目録を手渡しました。

編集後記

多彩な顔触れがそろった咸臨丸子孫の会の総会。同席した木村撰津守の玄孫吉村尚子さんからは驚きの情報。最年少会員でもある孫娘の話を楽しみにするので、「かわいくて仕方ないんだな」と思っていたらとんでもない。その名は吉村妃鞠ことHIMARI。国内外42コンクールで優勝を飾った世界に誇る13歳の天才バイオリニストだった。ベルリンフィルとも共演。すごい子孫がいたもんだ。(井)

会員募集中

本会の趣旨にご賛同くださいます個人、法人及び団体の皆様のご入会をお待ちしています。

下記アドレスまたはQRコードより、ホームページ「入会のご案内」をご覧ください。

<https://tomogorou.com>